



# 畜産草地研究所

## トウモロコシ・大豆粕主体低タンパク質飼料への酸素添加が ブロイラーヒナの飼養成績および窒素排泄に及ぼす影響

山崎 信・植村 斉・武政正明

家畜生理栄養部

北海道農業研究センター

### 要約

飼料への複合酸素添加がブロイラーヒナの成長および窒素排泄量に及ぼす影響を検討した。トウモロコシ・大豆粕主体の低タンパク質(CP19%)飼料に市販の複合酸素剤を0.150および300mg/kg添加した飼料、CP21%の対照飼料を6日齢の雄ブロイラーヒナに14日間給与した。供試した複合酸素剤は、セルラーゼ、プロテアーゼ、ペクチナーゼ活性を、それぞれ800, 10000, 300単位/gもつものであった。増体重、飼料摂取量および飼料効率は飼料間に差は認められなかった。飼料の見かけの代謝エネルギー含量は、酸素添加により有意に増加した。窒素排泄量は、低タンパク質飼料給与により減少したが、酸素添加の影響は認められなかった。

これらの結果から、飼料中のCP含量をヒナの生産能に影響を与えることなくCP21%から19%に減少させることが可能であり、CP19%飼料への複合酸素の添加は、飼料の見かけの代謝エネルギー含量を上昇させることが示された。

キーワード: 酸素添加、窒素排泄、代謝エネルギー、ブロイラー